

入源である漁業者負担金や遊漁船業者等協力金は減少傾向にあり、大変厳しい状況が続いています。

一方、種苗供給数も不安定ながら県内県外の関係団体等の協力をいただき各種種苗の増産を図る努力をします。また、公益社団法人全国豊かな海づくり推進協会より助成金の支援によりヒラメ放流事業の安定を図ります。

更に安定したサザエ種苗の県外水産関係団体等に積極的に販売していきま

す。また、事業の執行については、経費の見直しを行い、効率的な協会運営に努めます。

種苗放流では釣り対象魚でもあるマダイ15万尾(全長60㎝)、ヒラメ6万尾(全長)の放流を計画。

種苗供給事業ではアワビやサザエ、トコブシ、マダイを生産し、漁協など水産団体へ供給する。このほか、ヒラメ、カサエ、メバル、トラフグなどの種苗を入手し、漁協をはじめ(公財)日本釣振興会や水産団体等へ供給する。日釣振と(一社)日

本釣用品工業会の協働事業「つり環境ビジョン」コンセプトに基づき「LOVE BLUE E事業」では、

長年にわたる同協会東京湾にマダイ種苗の放流を行っている。

と協力が得られるよう、漁業者はもとより広く神奈川県内に対し、東京湾並びに相模湾の海洋環境の保全と水産資源を豊かに保つ必要性を訴えるため普及啓発活動を行います。今年度もコロナ禍の中でイベント等の中止は余儀なくされること

が予想されるため、ホームページから協会の情報については積極的に発信をいたします。

当協会の運営については、

神奈川県の栽培漁業を安定的に事業展開します。魚類種苗生産については中間育成事業を引き続き協会の陸上施設で実施します。これにより経費等の削減を図り協会の運営改善に努めていきます。

引き続き当協会の中核事業である種苗生産・放流並びに供給事業を行うことにより神奈川県の水産資源の維持増大を図ります。

更に、放流効果の安定した業界の強い要望であるヒラメ種苗などの種苗を入手し放流します。

また、今年度より第8次神奈川県栽培漁業基本計画に基づき今後5年間の栽培漁業目標として、

エ、トコブシ種苗の生産

ア、トコブシ種苗の生産

エ、トコブシ種苗の生産

# 神奈川県栽培漁業協会

## 令和4年度事業計画発表

(公財) 神奈川県栽培漁業協会は「第8次神奈川県栽培漁業基本計画」に基づき神奈川県の栽培漁業を安定的に事業展開と題して、令和4年度事業計画を策定し同協会が発行する『さいばいニュース』(7月1日付/第114号)に掲載した。事業計画の基本方針は以下のとおり。

今年度もコロナ禍の中でマダイ、アワビ、サザエ、トコブシ種苗の生産の栽培漁業目標として、

ア、トコブシ種苗の生産

エ、トコブシ種苗の生産

エ、トコブシ種苗の生産

エ、トコブシ種苗の生産

エ、トコブシ種苗の生産

エ、トコブシ種苗の生産

エ、トコブシ種苗の生産